

1	審議会名	令和2年度第1回城南公民館運営審議会
2	日時	令和2年5月21日(木) 午前10時00分から午前11時10分まで
3	会場	上田市城南公民館2階多目的ホール
4	出席者	岩木 功会長、渡辺 里香副会長、宮崎 昭子委員、上野 勝裕委員
5	市側出席者	村山館長、遠藤次長
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年5月21日

## 協議事項等

- 1 開 会 (遠藤次長)
- 2 岩木会長あいさつ  
新型コロナウイルス感染防止による活動自粛のなか、お疲れ様です。  
本日は「城南地区の地域づくりに係る公民館について」の審議となります。よろしくお願ひします。
- 3 村山館長あいさつ  
黒田委員が、体調不良により審議委員を辞退された。現在の委員さん方の任期が今年10月で切れることから、タイミングとして後任を選ばず、1人欠員のままとしたい。  
公民館は、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策として閉館しているが、6月1日から開館する予定である。  
本日の会議は、短時間で行いたいので、御協力をお願いします。
- 4 「城南地区の地域づくりに係る公民館の役割」についての諮問 (進行：会長)
  - (1) 諮問案件について (館長から説明)
 

諮問事項	城南地区の地域づくりに係る公民館の役割
期 限	8月31日まで
諮問の理由	国の中央教育審議会から示された方針を受けて上田市としての地域づくりに係る公民館の役割を定める。(別紙)
意見書提出	6月17日まで

(事務局) 城南公民館のあり方、意見・提案書に示してある7項目についてご意見、提案をいただきたい。中央教育審議会ですされた項目と対応している。項目ごとに意見交換をお願いします。

(委 員) 防災について、城南公民館は避難所になっているのか。

(事務局) 近接の南小学校と同様、避難所指定されておらず、防災備品も置いていない。そのため、防災に関する役割としては地域の防災学習拠点が現実的と考えた。

(委 員) 東日本台風の時、川辺小学校が避難所になったが、備品の不足や避難者受入でいろいろ苦労した。公民館が避難所指定されていないというのであれば防災学習拠点として考えるのが適当だが、防災・災害時対応について公民館と学校と連携していきたい。

(事務局) 地域学校協働活動について、現在は学校とボランティアが直接結びついているが、その仕組みが長期的に続くよう、学校と地域の人を結びつける組織的なものを作りたいとい

うことで、将来的には公民館が「地域学校協働活動本部」の役割を担うようにしていきたい。協働本部は、地域学校協働活動を通じて、地域づくり、人づくりを行う役割を担う。まだ形ができていないが。

(事務局) 若者については、若者が公民館活動に入るきっかけをどうするかが課題。巻き込むための仕掛けを公民館が作ればよいが、マンパワーの問題もあり、そこまでなかなかできていない。

(委員) 外国人、若者について、核になる人がいて、公民館に巻き込めればよい。そのような人が、事業やイベントをするのに公民館を巻き込んで定期的に開催するようになるとよい。

(委員) 外国人は思ったより大勢いる。

(事務局) 外国人は入ろうとする人が多いように思う。若者よりもきっかけ作りはし易いのではないか。

## 5 その他

### (1) 公民館運営審議委員の任期について

(事務局) 審議委員の任期が、令和2年10月30日までとなる。

## 6 今後の日程（事務局から）

### (1) 城南公民館運営審議会の開催について

日時 令和2年7月1日（水）午後1時半から

会場 2階多目的ホール

### (2) 城南地区青少年育成市民会議 講演会

7月8日（水）午後7時から大ホールで開催予定だが、新型コロナウイルスの状況によっては中止とする。

## 7 閉 会